

働の代り、賃金削減の強制を要求する。この結果、労働力の磨滅を招くことは当然であり、また労働力の擔當者が商品にあらざる人間であるところからこのやうな生理的限界を越えての時間の延長に對しては生命維持のための要求と運動が惹起せざるを得なくなるであらう。しかも、戦時經濟政策の強行は遂に賃金臨時措置令の發布を見るに至り、労働者の生活基礎資料の停滞を余儀なくせしめ、問題を益々加重するに至つた。

しかしながら、それを緩和する道は殘されてゐる。即ち、個別資本における勞務政策の合目的であること、及び總資本における社會政策の徹底これである。

ところで前に述べた如き、低賃金と時間延長、労働力の消耗、労働者の自衛運動がたゞに抽象的な問題にとゞまらず、社會現象としてまた運動型態として表面化するに至つたのである。その具體的事實の一として日本染料製造株式會社の紛議を擧げ得るであらう。そして、また同會社の紛議の内容を見ると、單に一箇の經營体における問題とし

なければならぬのである。かゝる結果は労働力の磨滅を招くことは当然であり、また労働力の擔當者が商品にあらざる人間であるところからこのやうな生理的限界を越えての時間の延長に對しては生命維持のための要求と運動が惹起せざるを得なくなるであらう。しかも、戦時經濟政策の強行は遂に賃金臨時措置令の發布を見るに至り、労働者の生活基礎資料の停滞を余儀なくせしめ、問題を益々加重するに至つた。

しかしながら、それを緩和する道は殘されてゐる。即ち、個別資本における勞務政策の合目的であること、及び總資本における社會政策の徹底これである。

ところで前に述べた如き、低賃金と時間延長、労働力の消耗、労働者の自衛運動がたゞに抽象的な問題にとゞまらず、社會現象としてまた運動型態として表面化するに至つたのである。その具體的事實の一として日本染料製造株式會社の紛議を擧げ得るであらう。そして、また同會社の紛議の内容を見ると、單に一箇の經營体における問題とし